

公益財団法人日本スポーツ協会公認 オリエンテーリングコーチ1・2養成講習会 受講の手引き

※ ディレクタからコーチへの移行措置は2023年度までとなります。2024年度以降は専門科目の一部免除、受講料の軽減がなくなり、ディレクタを所持されていた方でもコーチ1からの新規受講者扱いになりますのでご注意ください。

はじめに

オリエンテーリングは 1990 年代以降競技化が進みましたが、競技スキルを指導できる指導員を組織的には養成してきませんでした。この間、世界の競技レベルは上がり、日本代表チームの国際大会での成績は、アジア地区を除くと満足できる水準には達していません。また、広く育成が期待されるジュニアや初心者に対する的確な指導技術を持った指導者も十分ではありません。これまで JOA の指導者育成は大会等の質向上も担うディレクタによって行われてきましたが、近年ではコントローラ養成の仕組みにより大会等のプログラム提供に関わる資質育成が進んでいるという現状もあります。また、オリエンテーリングの初心者指導のみならず、オリエンテーリングが培ったナビゲーションスキルを他のアウトドア活動に活かすための指導者の必要性も高まってきました。

これらの現状変化を踏まえ、JOA では競技を的確に指導し、オリエンテーリングの楽しみを深めることに寄与できる指導者育成の在り方を検討してきました。一方、JOA が加盟する日本スポーツ協会 (JSPO) でも、「生涯を通じて快適なスポーツライフの構築を通して望ましい社会の実現に貢献する推進役となる指導者育成を目指し」、指導員資格の改訂が行われ、その中に種目指導者を位置づけています。JOA では JSPO の指導員養成の理念に賛同し、これまでの指導員制度 (ディレクター／インストラクター) から、JSPO 指導員／インストラクターへと指導員制度を移行し、競技力向上を担う人材育成を行うとともに、普及活動、競技会の質確保の人材を確保するための指導者制度を再構築することとしました。

1. 指導者制度の経緯と新制度の趣旨

1) これまでの JOA の指導者養成の経緯

JOA は、日本におけるオリエンテーリングを統括する団体として、前身である日本オリエンテーリング委員会時代の 1972 年度から 1～3 級の指導員養成を行ってきました。この制度は、日本に認知されていなかったオリエンテーリングという野外スポーツを実施し、広く普及する普及員としての性質を強く持つものでした。その後、JOA が野外活動団体協議会 (キャンプ、ホステリング、サイクリング) に加盟し、1998 年には文部大臣認定「社会体育指導者の知識・技能認定事業」として認可され、現在のディレクター 1、2 級、インストラクターの仕組みとなり、現在に至っています。ディレクターはその名前から分かるように、野外活動のプログラムを統括して提供できる資質を持つ指導者としての側面を強く持っていました。

その後、2002 年には現行へとカリキュラム改訂を行いました。改訂の骨子は、野外活動指導者としての資質を維持しつつも、スポーツとしてのオリエンテーリングの技術指導もできる指導者養成への変更でした。そのために 1、2 級のディレクターでは指導法やコース設定を学ぶとともに、インストラクターでは実地での指導に力点を置いたカリキュラムとなりました。

2) 公認スポーツ指導者制度の趣旨(スポーツ協会オフィシャルガイドより抜粋)

日本体育協会 (2016 年当時、現日本スポーツ協会) 及び加盟団体等は、「スポーツ立国」の実現を目指し、生涯を通じた快適なスポーツライフの構築を図ることを通じて、望ましい社会の実現に貢献するため、その推進の中心となるスポーツ指導者を育成する。

日本体育協会及び加盟団体等が、公認スポーツ指導者制度に基づき資格認定する指導者とは、常にプレーヤーを最優先するというスタンスに立ち、スポーツ医・科学の知識を活かし、「スポーツを安

全に、正しく、楽しく」指導し、「スポーツの本質的な楽しさ、素晴らしさ」を伝えることのできる者である。

公認スポーツ指導者は、日常の「生活／暮らし」にスポーツを取り入れることによって「豊かな人生」を得られることを広く一般に定着させるとともに、「仲間と楽しく行いたい」「うまくなりた、強くなりた」さらに「健康になりたい、長生きしたい」という欲求に応えられるよう、その実現に向けて「サポートする」活動を通して、望ましい社会の実現に貢献するという役割を持つ。また、常に自己研鑽を図り、自ら成長・発展するとともに、社会的評価が得られるよう努力することが重要である。

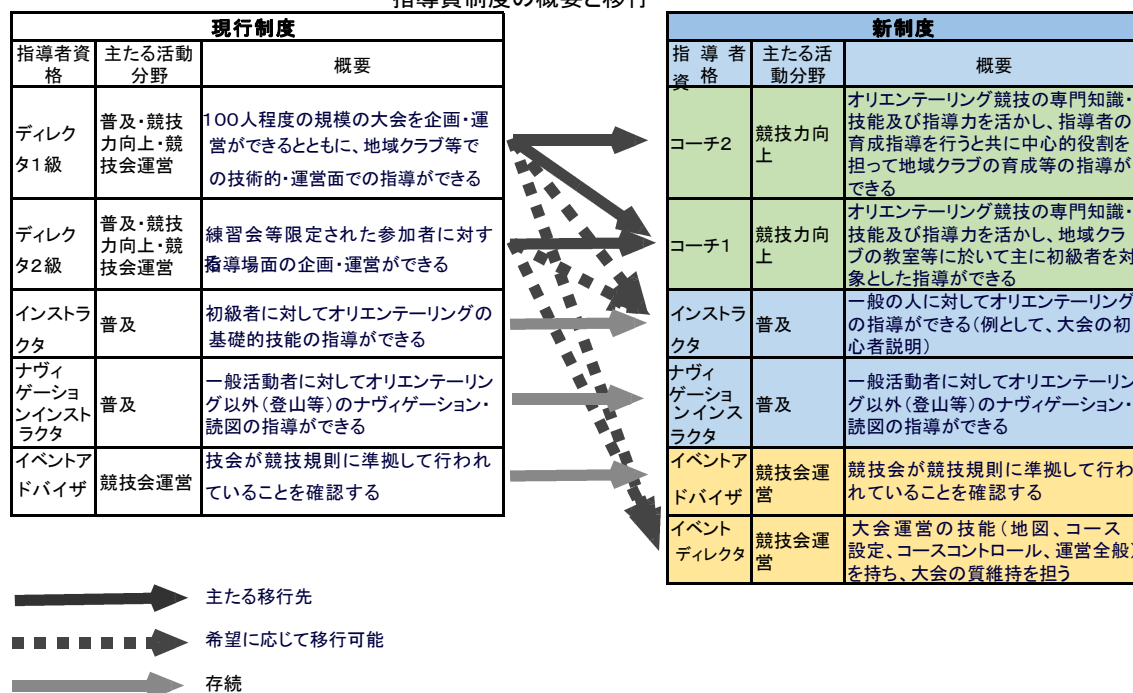
安全で、正しく、楽しいスポーツ活動の場を確保するためには、スポーツ指導者には以下のような姿勢・資質が必要である。

- ・スポーツに対して情熱を持ち、常にプレーヤーを最優先し、何事にも前向きに取り組む
- ・すべてのプレーヤーに常に公平な態度で接し、また活動に参加したくなるような雰囲気を作る
- ・すべてのプレーヤーの個性や長所を見つけ、伸ばす
- ・一方的、強制的な指導にならないよう、コミュニケーションスキルを高め、活動のねらいや内容をプレーヤーと共有する
- ・発育発達段階や技能レベルに即して指導計画と指導方法を工夫する
- ・プレーヤーの健康状態に注意をはらい、ケガや病気を起こさないよう配慮する
- ・天候や活動場所の整備状況、道具・用具の手入れや施設の破損確認などに配慮する

3) 指導員制度の趣旨(JOA)

新しい指導者養成の枠組みでは、JOAの公益事業3区分(普及指導、競技力向上、競技関係)に対応する「普及」「競技力向上」「競技会運営」の3領域に指導員を再編し、養成します。

指導員制度の概要と移行



現行の指導員とこれらの関係を示したのが、上図です。

コーチ1・2は指導に特化した専門的な資格であり、講習時間もかなり多くなります。指導者資格を所持したいがコーチはややハードルが高いと感じられる方は、申告いただければJOA独自資格で

あるインストラクタに移行いただけます。

また、大会運営のために資格を所持したいという方はイベントディレクタを取得して下さい。ディレクタ資格を所持している方は申請のみで移行可能です。

新規の方はオンラインによる講習と認定試験によって取得可能です。

2. カリキュラム

コーチ1 地域のクラブ・団体でのコーチングスタッフとして、オリエンテーリング競技の専門知識・技能及び指導力を活かし、クラブの教室等に於いて初心者～初級者を対象とした指導を企画・運営を行う者を養成します。「競技特性から指導者の役割」「運営技術・設営」といった基本的な理論から、実際に競技をおこなう上での「基本技術」「フィジカル・メンタル」「指導計画」といった実技的な内容を学びます。

コーチ2 地域のクラブ・団体のリーダーとして、専門的な知見を基に安全で効果的な活動を提供する者、中心的役割を担ってクラブの育成等の指導ができることと併せて、より広いエリア(県及びブロック)を対象とし、レベルに応じた競技指導を企画・実施できる者を養成します。「基礎理論」「実技・指導」ともにコーチ1より踏み込んだ内容で、エリートクラスや各年代のトップクラスの指導が可能となるスキルを身につけ、インカレ代表や全日本リレーのチームを指導できるものを育成します。

共通科目 公認スポーツ指導者として必要な資質能力(思考・判断、態度・行動、知識・技能)を修得するため、すべてのスポーツ指導者に共通して求められる資質能力に関する科目と、役割に応じて求められる専門的な資質能力に関する科目を体系的に学ぶ。コーチ1では「コーチングアシスタント講座」として、地域クラブ・団体等で基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供するスキルを身につけ、コーチ2では地域クラブ・団体等の責任者として、安全で効果的な活動を提供するとともに、指導計画を構築、実行、評価し監督するための各スポーツに共通する内容を学ぶ。

3. 受講・登録の流れ

概要 JSPO公認指導員になるためには、JSPOが実施する共通科目とJOAが実施する専門科目を受講し、課題提出・検定試験(コーチIIのみ)に合格して修了の判定を受けなければなりません。当該年度中に共通科目・専門科目の両方を修了された方は、翌年7月に登録手続きをすることによって、10月1日付で公認指導者として認定されます。

申し込み JOAのメールアドレス(joa@orienteering.or.jp)に、必要事項(JOAのホームページでご確認ください)を記載した受講申込メールをお送りください。

JOAより受講可の返信を受領後、JSPOのインターネットサービス「指導者マイページ」のアカウント登録手続きを行い、指導者マイページから本講習会の申込手続きを行ってください。

JOA 申込 2023年4月下旬より受付予定です。

受講料 コーチ1 40,040円(共通科目18,040円・専門科目22,000円)

コーチ2 42,900円(共通科目20,900円・専門科目22,000円)

※ ディレクタからの移行講習の場合専門科目は13,200円とする。

共通科目 共通科目はコーチ1がコーチング・アシスタント講座45時間。コーチ2が135時間になります。コーチ1はテキスト学習後のオンラインテストと動画視聴後のレポート提出。コーチ2は通信講座に加え各加盟団体が主管する集合講習の受講(今年はJSPO主催のオンライン講座を実施予定)が必要です。講習会の実施につきましてはJSPOのホームページでご確認ください。

専門科目 ディレクタ資格を所持しておらず新規でコーチ1を取得される場合の講習時間は30時

間(集合16時間・自宅14時間)です。集合講習は1泊2日(+オンライン4時間)で開催予定です。

ディレクタ資格を所持されている場合は、受講科目が一部免除されます。その場合の受講時間は受講時間は以下のようになります。

ディレクタ2級からコーチ1 11時間(集合6時間・自宅5時間)

ディレクタ1級からコーチ1 7時間(集合5時間・自宅2時間)

ディレクタ1級からコーチ2 21時間(集合8時間・自宅13時間)

2023年度の養成講習会は現在日程を調整中です。日程が決定し次第、JOAのホームページ等で告知いたします。

科目の修了 共通科目Ⅰはオンラインテストとレポートによって、共通科目Ⅱはオンライン講座受講後の課題レポートによって合否が判定され、合格した場合は科目の修了が認められます。専門科目は講習会で修了が認定されます。共通科目・専門科目両方の修了が認められた方は、登録手続きに関する案内が送付されます。

登録手続き 2023年度に受講された方は翌年5月頃に受講状況の通知がJSPOから送られます。

その後、7月下旬に登録手続きに関する案内が送付されますので、所定の期日までに手続きを完了してください。

手続きを完了された方は、2024年10月1日付で指導員として認定されJSPOより「認定証」と「登録証」が送られます。

登録料 登録料は以下の通りです。

基本登録料 10,000円/4年間

種目別登録料 10,000円/4年間

初期登録手数料 3,000円(初めて登録する際にかかる手数料です。)

指導者マイページの利用(JSPO)

受講の申し込みはJSPOの「指導者マイページ」から行います。

<https://my.japan-sports.or.jp/login>

「新規登録」から入って「マイページ登録」を行ってください。

「利用マニュアル」は以下になります。

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/ikusei/doc/shidojin/2020/02_coach2_manual.pdf

JOAへのメールでの申し込みが終了していても、「共通科目講習会」の申し込みが必要になりますのでご注意ください。

4. 免除規定について

以下の条件を満たす方につきましては、専門科目の一部もしくはすべてを免除致します。該当する方はJOAに受講申込をする際に申し出てください。

4.1 指導実績に関する免除規定

①2010年以降の世界選手権およびジュニア世界選手権のヘッドコーチ(監督経験者)、はコーチ2専門科目44時間の講習免除する。その他のコーチは実績に応じて専門科目の一部を免除する

4.2 競技実績による免除規定

①世界選手権出場者はコーチ1またはコーチ2専門科目のうち、実技・指導実習講習(基本技術)を免除する。

②全日本選手権入賞者(21E)は、コーチ1またはコーチ2専門科目のうち、実技・指導実習講習(基本技術)を免除する。

③①②に準じる競技力を持つと、認定されたもの。

5. 資料

- 公益社団法人日本オリエンテーリング協会
/http://www.orienteering.or.jp
同 「コーチ1・コーチ2」ページ
/http://www.orienteering.or.jp/leader-data/coach1coach2/
- 公益財団法人日本スポーツ協会
<https://www.japan-sports.or.jp/>
同 「スポーツ指導者」ページ
<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid63.html>